



園児が授業体験

～架け橋プログラムの記録～

教育長 津野庄一郎

来春入学する関川なないろ保育園の園児（年長児：17名）が、8月5日（水）関川小学校で授業を体験しました。この取組は関川村架け橋プログラムの一環。いわゆる「小1プロブレム」を解消し、園児たちの小学校入学後の生活や学びをスムーズにし、よりよい成長を促すために、昨年度から始めたものです。

当日、園のバスで登校した園児たちは、関川小学校でのプール遊びを終え、着替えを済ませて1年生教室へ。国語の授業「ひらがなであそぼう」（伊藤真由美教諭）では、電子黒板に映し出されたひらがなから一つだけ違うひらがなを見つけるゲームをしたり、ひらがなを4つに分けたパズルを組み合わせたり、ヒントになる絵を参考に、「あ」のつく言葉を考えて発表したりしました。園児たちは「はい」、「はい」と進んで手を挙げて答えたり、先生の問いかけにしっかりと応えたりするなど、30分余りを楽しく学びました。

情報交換会では、「ゲームでの入りが園児の緊張をほぐしてくれた」「5歳児にふさわしい題材と活動が良かった」「指名のタイミングと声のトーンが園児の胸に響いた」「前の子と同じことを言ってしまうても、肯定する姿勢が良かった」「園児を飽きさせないための工夫が参考になった」などの声が上がりました。また、授業者からは「ひらがなに関心をもってもらいたかったので今日の授業を考えた」「本を読みたいという気持ちをぜひ育ててほしい」。生活面では「鉛筆や箸の持ち方、朝から調子を整えることなどができるようになる」といった声も聞かれました。

7月末には小学校の教職員が、関川なないろ保育園に行き、園児のお化け屋敷の工作や貨物列車の体育遊び、プールや給食の様子を参観しました。園児は今後、10月の「秋祭り（1年生活科）」、11月の「児童会祭り（5年生とお店巡り）」に参加して、小学校の雰囲気味わうなど、プチ体験を重ねていきます。

「関川小学校への入学が楽しみだな」そんな声が一人でも多く聞けるように、教育委員会としても保小連携の取組みをサポートしていきたいと思います。ふるさと関川を愛し、誇り、学び続ける子どもを育てるために。

【写真】関川小で授業を体験した園児たち